

# アジアを 駆ける

タイに出た県西部企業

首都バンコクから南東約百三十キロ。自動車関連の部品工場が並びアマタシティ工業団地（ラヨーン県）の一角に、業務用天然調味料製造の日研フード（袋井市）の現地法人「タイ日研フード」がある。



売り込む。

現地法人の堀内健次社長（四六）は「六、七年前からハラル製品の要望が増えてきた」と話す。豚肉を使う製品とは製造工程を完全に分けなければならず、日本や中国の工場では対応が難しかった。イスラム教国最大のインドネシアやマレーシアに近く、原料の魚やエビを入手しやすいのがタイだった。

## ① 市場開拓

日研フード

## 「ハラール」製品に商機 シーポイント 試食会で和食売り込み

イスラム教徒は十六億人。世界の四分の一を占める。調味料の世界では、一人当たり国内総生産（GDP）が五千ドルを超えると化学調味料から天然調味料に需要が移るといわれる。タイは既に五千ドルを突破。インドネシアも三千五百ドルを超えた。「潜在的な市場は大きい」と堀内社長。タイに合う製品の開発も始める人気サイトに成長。昨年四月からはクーポン付き情報誌も発行、約一万四千人に無料宅配している。

主力事業は、タイ人向けの日本食情報サイト「JGB」（ジャパニーズ・グルメ・バンコク）。和食ブームに乗って一一年に始めた。試食会などの企画が好評で、月間八万人が訪問する

浜松と沖縄で地域ブログサイトの運営などを手掛けるシーポイント（浜松市中央区）。〇八年に初の海外拠点「シーポイント・タイランド」をバンコクに設けた。

住所や性別、年齢などを把握した宅配会員のデータにも日本企業の注目が集まっている。伊礼社長は「マーケティングの母体として育てていく。タイの生活に日本の商品やサービスを根付かせる手伝いをしたい」と意気込む。

**フリーマート**  
■補助金の活用法を解説 遠州信用金庫内に事務局を置くえんしん経営者クラブは10日午後3時～4時半、中小企業・小規模事業者を対象に「補助金セミナー」を浜松市中央区元城町のホテルコンコルド浜松で開く。参加無料。定員50人程度。

## 太陽光発電 葵区に建設

ソフトバンク

ソフトバンクのエネルギー事業子会社SBエナジー（東京都港区）は二日、静岡市葵区中ノ郷に最大出力約一・九メガワットの大規模太陽光発電所（メガソーラー）「ソフトバンク静岡葵ソーラーパーク」を建設、同日着工したと発表した。今年六月の稼働を予定している。

ハラールの認証を示すタイ日研フードの堀内健次社長。イスラム圏への販売拡大に意欲を燃やすタイ・ラヨーン県で



情報誌には日本の食材や地方を紹介する特集記事を掲載。旅行会社と組み、日本ツアーの広告を入れることも検討中だ。「情報提供から始め、物や人の流れにつなげるのが当初からの計画だったが、もう少し時間が掛かると思っていた」。伊礼喬太社長（三三）は展開の速さに驚きを隠さな



れた研究成果を残した企業関係者らを知事が表彰する。表彰式は四日、沼津市のプラサヴェルデで開かれる「ふじのくに新産業創出フェア」の中で行われる。ベストプラスは一九九九年創業。人体に影響が少ないため、金属アレルギーの